

バーチャルエンターテインメント市場での事業拡大を加速 ヤマハ アイ・ペアーズへ出資

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、急成長するバーチャルエンターテインメント市場^{*1}において、GPAP^{*2} 事業などの事業拡大を目的として、アイ・ペアーズ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：伊藤衛、以下「アイ・ペアーズ」）への第三者割当増資による出資を行いましたので、お知らせします。今回の出資は、中期経営計画の戦略骨子である「未来を創る挑戦」の一環です。

バーチャルエンターテインメント市場は、今後10年間にわたりグローバルで大きな成長が期待されており、当社が注目する分野の一つです。国内でも、音楽・スポーツ用の大型施設の新設や建て替えが予定されており、安定的に観客を集める手段として、バーチャルエンターテインメントを含むコンテンツの需要が今後さらに高まると見込まれます。

アイ・ペアーズは、バーチャルエンターテインメントイベントを企画から興行まで一貫して手掛けることができ、業界内でも高い評価を受けている企業です。これまでも当社「GPAP（ジーパップ／General Purpose Audio Protocol）」とアイ・ペアーズの「n-Links Retarget」^{*3}を連携させ、VTuber やバーチャルキャラクターによるライブなどで活用されるモーションキャプチャーをはじめとするバーチャルプロダクションの制作において、汎用的に記録・編集・再生を可能とする新技術を共同開発してきました。^{*4}

今回の出資を通してバーチャルエンターテインメント分野における両社の強みを活かし、コンテンツ制作プロセスの更なる効率化や、ライブ・イベントの開催や配信を進めることで、両社の事業成長を加速してまいります。

<アイ・ペアーズ 代表取締役社長 伊藤 衛のコメント>

このたび、ヤマハ株式会社との資本関係を通じた連携をさらに深化させられることを、大変心強く感じております。バーチャルエンターテインメントは、音楽とテクノロジーが交差する新しい創造領域です。GPAP と n-Links の強みを掛け合わせることで、制作プロセスの革新と新たなライブ体験の創出を進め、国内外に向けた次世代エンターテインメント基盤の確立に挑戦してまいります。

<執行役員 新規事業開発部長 北瀬 聖光のコメント>

デジタル化が急速に進展する時代においても、音・音楽の力は人々の創造性や感動を支える普遍的な価値を持っています。バーチャルエンターテインメントは、その力を新しい形で社会に届ける重要な領域と捉えています。アイ・ペアーズ社との取り組みを通じて、Sound×Digital の力でリアルとバーチャルが響き合う新たな体験の創造に挑戦してまいります。

■アイ・ペアーズ株式会社の概要

所在地	東京都新宿区
代表者	伊藤衛
事業内容	音楽／音声関連事業、3DCG 映像制作事業、Web サイト制作、IT コンサルティング全般、ソフトウェア受託開発、サービス企画・運営支援、Web プロモーション支援等
従業員数	23 名（2026 年 2 月現在）
資本金	40,000,000 円

*1 バーチャルキャラクターライブ(アイドル、VTuber)、バーチャルプロダクション、モーションキャプチャー等を含む市場

*2 「GPAP」

音声・映像・照明などのさまざまなデータをオーディオデータ (wav データ) として記録・再生・編集することを可能にする技術です。

ニュースリリース (2024 年 2 月 1 日)

音声、映像、照明など多様なデータ形式を統一化する記録・再生システム『GPAP (General Purpose Audio Protocol)』を開発

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24020102/

*3 「n-Links Retarget」

ライブや TV 番組・映画の制作現場で長年数多くのモーションキャプチャー収録を行うアイ・ペアーズのノウハウを活かした自然なリターゲット処理を組み込み、運用するオペレーターの利便性、マルチプラットフォーム対応でタブレットでも動作する軽量さ、長時間収録に耐えうる安定性・冗長性を備えた新世代のリターゲットソフトウェア。

<https://i-pairs.co.jp/13537/>

*4 ニュースリリース (2025 年 7 月 2 日)

ヤマハとアイ・ペアーズが共同開発

モーションキャプチャーを汎用的に記録・編集・再生を可能とする新技術

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25070201/

■ 報道関係の方のお問い合わせ先：

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 TEL. 053-460-2210

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)